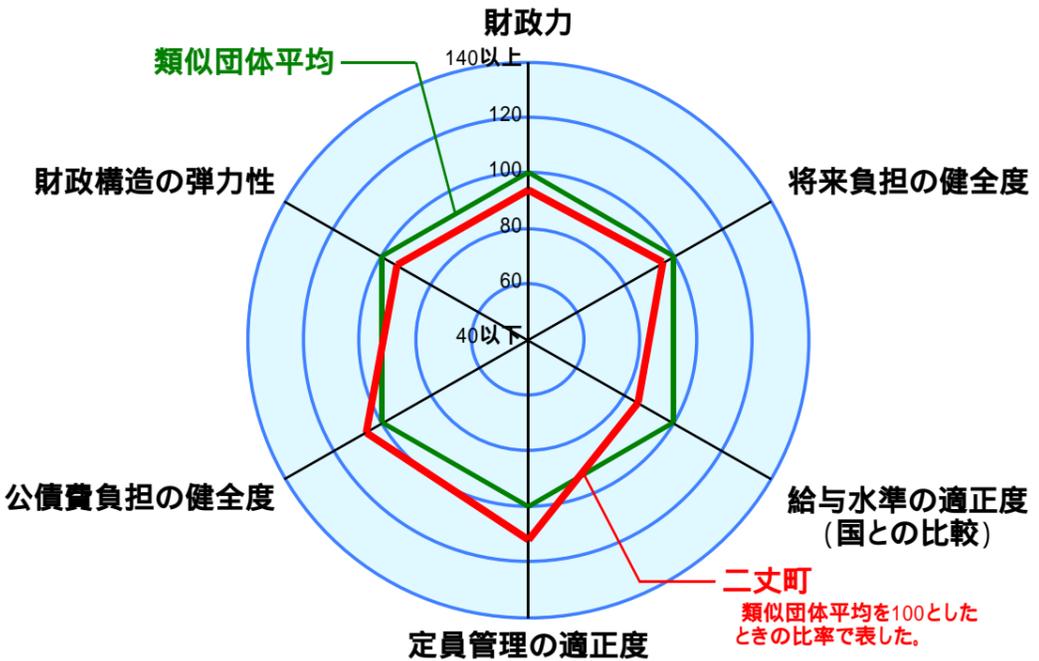
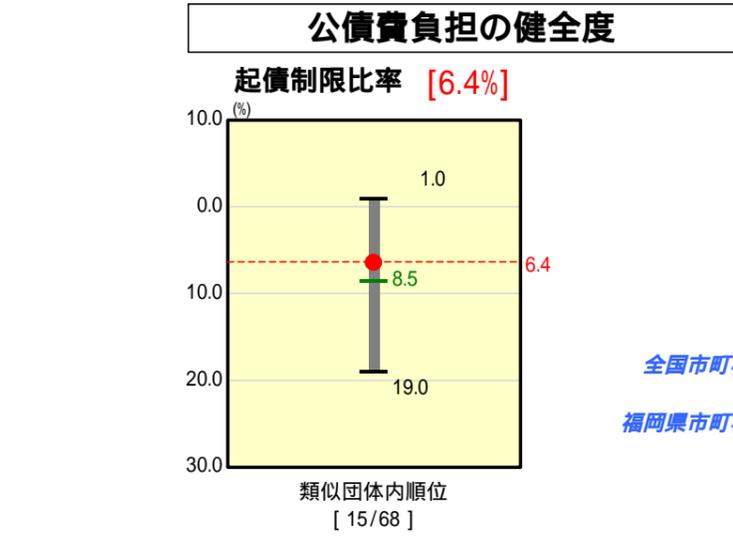
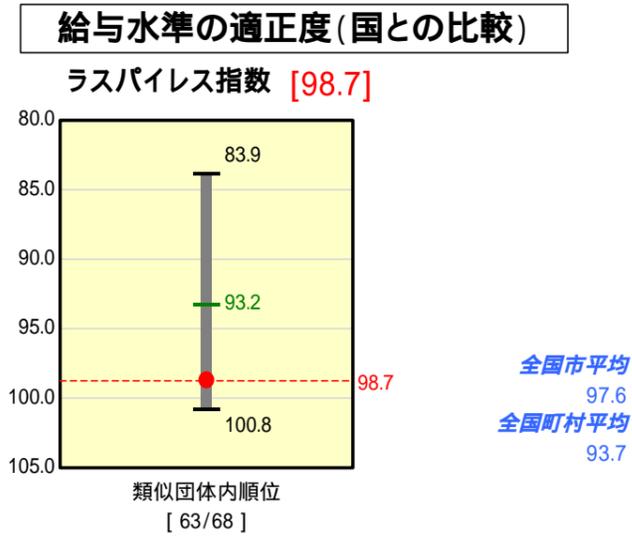
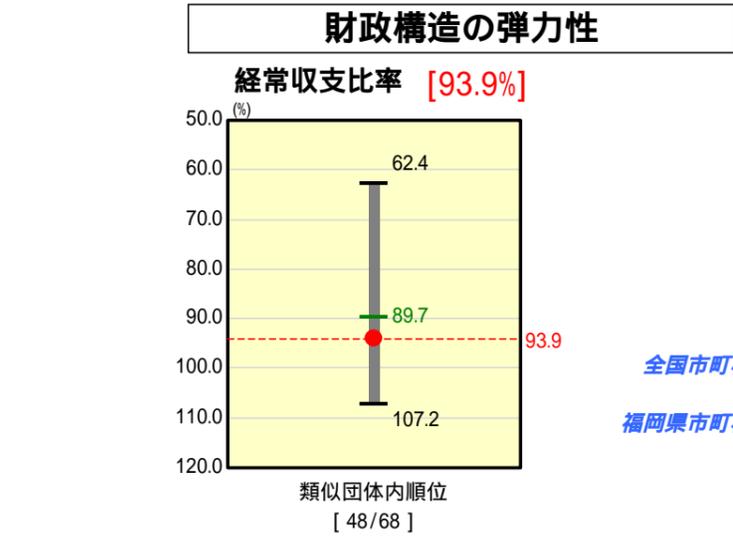
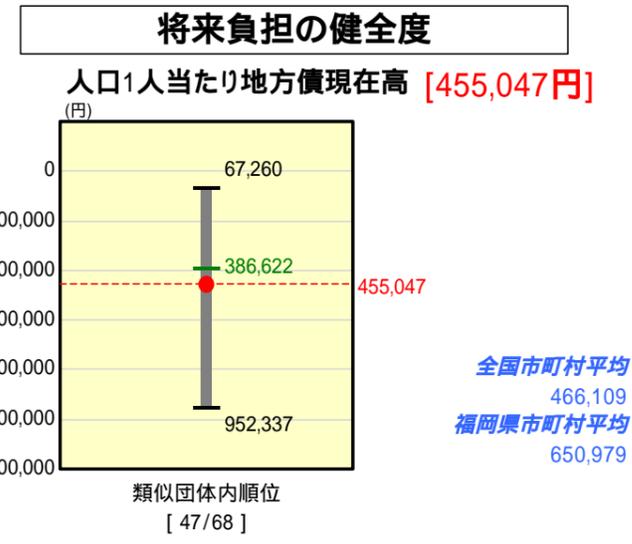
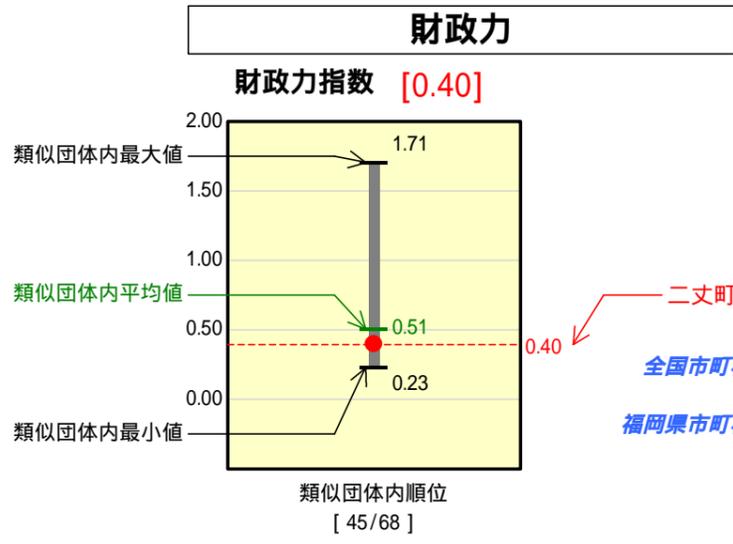


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 二丈町

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 13,699 人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 57.07 km ² |
| 歳入総額 | 5,525,122 千円 |
| 歳出総額 | 5,341,112 千円 |
| 実質収支 | 176,660 千円 |



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
投資的事業の抑制による歳出削減(対15年度比1.7%減)により、財政力指数は年々増加(単年度比較で12年度0.34、16年度0.42、5年間で24%増)している。今後とも、引き続き投資的事業の抑制(新規事業の起債借入3億以下)を行うとともに、第4次行政改革大綱に基づき事務事業の効率化又は整理合理化による事業の見直し(スラップ&ド)を行い、財政の健全化を図る。

経常収支比率
公立保育所の一般財源化(対象経費29百万)及び老人医療費の増(対15年度比7.8%増)等により経常一般財源が増加する一方、町税の伸び悩み及び地方交付税、臨時財政対策債の大幅削減(対15年度比10.0%減)により、16年度は類似団体を上回る93.9%となった。今後も地方交付税の削減が予測されることから、第4次行政改革大綱に定めた「健全財政のまちづくり」指針に基づき、広告看板等の設置、体育館・公民館使用料の減免基準の見直しによる自主財源確保対策(年間当たり150万増)、経費削減計画(10年間で人件費30%減、5年間で物件費20%減)を確実に実施することにより、自立した健全なまちづくりを目指す。

起債制限比率
交付税措置のある事業の借入を重点的にしたことにより、起債制限比率は年々減少傾向(単年度比較で12年度9.3%、16年度5.7%、5年間で3.6ポイント減)にある。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高
13年度から15年度にかけて中学校校舎・体育館の改築及び健康ふれあい施設の建設等が集中したため、地方債残高が大幅に増加(12年度4741百万、16年度6234百万、5年間で31.5%増)し、類似団体平均を上回っている。後世への負担を少しでも軽減するよう、今後の新規発行債を極力抑制(新規事業の起債借入3億以下)し、財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数
定員適正化計画等に基づく職員の減員(対15年度比3名減)や特別昇給の廃止(13年度-)、効果予測年間62万)により、15年度に100.8であったラスパイレス指数は16年度は99.7であり、国とほぼ同レベルとなっている。今後とも第4次行政改革大綱に基づき、人件費を10年間で30%縮減することにより、給与の縮減努力を行う。

人口1,000人当たり職員数
11年度以降、介護保険や合併協議等の行政ニーズの増加に対し、機構改革をはじめ、事務の効率化や正規職員の嘱託化等により職員数を抑制(5年間で10名減)してきたことにより、類似団体を下回る6.64人となっている。今後も定員適正化計画に基づき人員抑制に努めるとともに、正規職員を10年間で20人(19.9%)減員することを目標とする。

